

●内海耕司

・山口美矢子の甥っ子・夏休みで東京からた

●望月文音

・美容師

●森 樹生

・森工務店の若頭

●森 智美

・樹生の妹（大学4年生）

●土橋真一

・釣具屋に就職

●菊地香織

・烏山大学3年生

●望月佐知

・文音の母親。美矢子とは同級生

●長谷川豊

・烏山駅長

●山口美矢子

・内海耕司の叔母・佐知とは同級生

●池沢幸恵

・小料理池沢の女将

【SE】夜、雨が降っている。

【SE】ラジオが流れている。FMからすやま、天気予報が流れている。

【SE】貨物列車の通り過ぎる音がする。

●ベンチに座っている内海耕司。丸テーブルの椅子には、望月文音。

文音 あの一、この辺では見かけないですね、

内海 ……

文音 あの・・・ベンチにいる、あなたですよ。あ・な・た、

耕司 えっ!? 俺? 話しかけられたの?

文音 他に誰がいるんですか? 周りに誰も居ないじゃないですか、

耕司 いやっ、声掛けられるなんて思わないでしょ、

文音 そうかもだけど・・・で、何処から来たんですか?

耕司 東京です、

文音 東京っ!?

耕司 まあ・・・、

文音 お仕事で来られたんですか?

耕司 いやっ、叔母さんがこっちに住んでて、お線香を上げに来たんだよ、

文音 ああ、お盆ですもんね、

耕司 叔父さんが去年、癌で亡くなつてさ。俺、仕事で時間無くて葬式にも参列

出来なくてさ・・・

文音 優しいんですね・・・

耕司 えっ、まあ、叔父さんには、いろいろとき・・・

【SE】黒電話が鳴る。

○駅長、長谷川が受話器を取る。

長谷川

はい、烏山駅・・・はい、私が長谷川です。・・・そうですか。

ご苦労様です、

○長谷川、受話器を置く。

長谷川 すいません。今、連絡が入って、電車、雨の影響で遅れるそう  
す……

耕司 俺は、迎えに来るのを待ってるんで大丈夫ですよ、

文音 私も、真一を待ってるんで……、

長谷川 デジャブ、

耕司 はい？

長谷川 いやね、こんなやりとり、前にもあったような、ないような……

耕司 はぁ……

長谷川 雨が降っていて、電話が鳴って、電車が遅れて……お客さんに謝って……

耕司 同じ状況になったら、そうなるでしょ、

文音 そうですよ。いつも起きてる事です、

長谷川 そうですよ。梅雨時期もそうだけど、からすやまの8月の雨は強

くて行けねえー、

文音 だけど、一気に涼しくなって、網戸越しの雨の、ポツ、ポツ。ポ

ツ、ポツって言うのが好き、

長谷川 夏の雨音はいいよね。昼寝しながら聞く雨音はたまらないなあ、

ポツ、ポツ、ポツ、ポツ、

文音 ポツ、ポツ、ポツ、ポツ、

長谷川 (耕司の顔を見ながら) ポツ、ポツ、ポツ、ポツ、

耕司 ……

長谷川 ポツ、ポツ、ポツ、ポツ、

耕司 ……何なんですか？

長谷川 いや、一緒に言ってくれないかなと思って、ポツ、ポツ。ポツ、ポツ、

耕司 いつ、言いませんよ。気分悪いなあ……、

長谷川 あつ、すいません。つい調子に乗ってしまった……ごめんなさいね、

耕司 別に……いいですけどー

文音 駅長さん、悪い癖、出てますよ、

長谷川 あつそうだ、仕事、仕事ー、

○長谷川、ホームへ移動。

文音 駅長さん、にげたな（笑）  
耕司 ……

●照明 ●雷、ピカピカ。

【SE】雷鳴。

○文音、へそを隠す。

耕司 どうしたの？お腹でも痛いなの？

文音 平気なんですか？

耕司 何が？

文音 雷ですよ。雷、

耕司 ああ、別に……

文音 いいなあ、私、雷が鳴ると、ついおへそ隠しちゃうんですよ、

耕司 へそ隠してたんだ（鼻で笑う）

文音 ちよつと、今、笑ったでしょ!?

耕司 いや、別に……

文音 それにしても、真一、何やってるのよ。電話してやる、（真一に電話）

【SE】呼び出し音が鳴る

文音 何で出ないのよ、

○文音、電話を切る。文音、母親の佐知に電話する。

【SE】呼び出し音。

佐知（声） はい、望月ですー

文音 もしもし、お母さん！今から駅に迎えに来て！

佐知（声） 文音!?!どうしたの!?!真一くんは!?!

文音 あいつ知らない！連絡着かないから帰れない！

佐知（声） もうすぐ迎えに来るわよ！運転してて連絡出来ないんじゃない!?!

文音 ううん(否定)いつもなら車止めて連絡くれるもん！

佐知（声） あらっ、そうなの!?!何かあったのかしらね、

最終電車は次の街へ シーズン2

文音 とにかく迎えに来てー  
佐知（声） 分かった、とりあえず駅にいくねー  
文音 待ってるね！私、文音って言います。望月文音ー  
耕司 文音・・・、

●照明●雷、ピカピカ

【SE】雷鳴が鳴る。

文音 うわっー！おへそ隠さなくて大丈夫ですか？  
耕司 大丈夫ですよ、なんとも無いですよ、

●照明●カミナリ。

【SE】大きな雷音。

○文音、悲鳴を上げて耕司に抱きつく。

樹生 うわっー濡れる！濡れる！

○樹生、待合室に入ってくる。

●照明●一瞬暗くなり、じんわりブルー、蛍光灯が付く。

【SE】電気のジリジリッ。

文音 電気つきましたね、

樹生 あっ、失礼しました！

文音 あっ!? ごめんなさい、

耕司 うわっ!? こちらこそー

文音 あれっ!? 樹生!?

樹生 文音!? 何やってんだよ！男に抱きついて！

文音 これは違うの、雷が怖くって、ついー

樹生 ホントかよ！

耕司 ホントですよ、雷が鳴って、急に、停電になってー、

文音 そう、そうなの！おへそ隠そうとしたら、怖くて抱きついちゃったの、  
樹生 それならいいけどー

文音

樹生が早とちりしたんじゃない!

樹生

悪かったよ。ごめんよ。どうも俺は人の話しを最後まで聞かないらしく、申し訳ない。(耕司に)俺、森 樹生って言います。大工やってます、

耕司

あつ、どうもー俺は内海耕司・・・

文音

内海・・・

樹生

どうしたんだよ!?

文音

なんでも無いーそうだ、去年、叔父さんが癌で亡くなったって言ってます。たよね!もしかして、美矢子さんの旦那さんのことですか!?

耕司

そうだけど・・・

樹生

そうか美矢子さんの親戚なんですね。どうりで見ない顔だ、

耕司

・・・

文音

そういえば、樹生、珍しいじゃない駅に来るなんて、

樹生

まあな、いつもなら家に帰って、野球見ながらビールをクイっといつて

文音

るんだけどな、妹の智美を迎えに来たんだ、

文音

ああ、智美ちゃん帰ってくるんだ、

樹生

そつ、そう・・・(帰ってくる理由は言いたく無い)

○幸恵、長谷川の差し入れを持って入ってくる。

幸恵

長谷川さん!お夜食持ってきたわよ!あらっ樹生くんじゃない!文音ちゃんも、どうしたの!?

樹生

あつ、幸恵さん、

文音

智美ちゃん、帰ってくるんだって、

幸恵

あらっそうなの!?あなた何処かで見たかしらー!?

文音

美矢子さんの甥御さんですよ、

幸恵

ああっ思い出した!耕司くんでしょ!?!あなたが小さい頃、よく公園で遊んだわ!覚えてる!?

耕司

小さい頃・・・遊んでくれた?

幸恵

そうー、大きくなつたわね!

耕司

ああ、思い出した!?あの時のー幸恵さん!?

幸恵

思い出した!?ご両親は元気!?今、どうしてるの?

耕司

両親は今、北海道に居ます、

幸恵 北海道!?また遠いところに行つたわね、

耕司 ええ、脱サラして牧場経営を、

幸恵 牧場!?あなたも一緒に手伝つてるの!?

耕司 いや俺は東京に住んでますー

○長谷川、駅長室から登場。

長谷川 幸恵さん、お待たせしました!いつもいつも差し入れ、ありがとうございます

ます!♪ご飯がご飯がすすむくん、おかわり!ご飯がご飯がすすむくん♪

幸恵 今日は蟹玉よ!

長谷川 蟹玉大好き!

幸恵 それじゃ、私、店に戻るから!耕司くん、私、駅の隣で小料理屋やつて

るの、時間あつたら、お店に寄つてね、思い出話しに花を咲かせましょう!

耕司 あっ、はい……

○幸恵、店に戻る。

文音 駅長さん、さっきの歌、なんですか?

長谷川 あれっ?あの有名なCM知らないの!?

樹生 何処かで聞いた事があるようなないような……

長谷川 ♪ご飯がすすむくん、ご飯がすすむくん♪♪ご飯がすすむくん、ご飯がすすむくん♪

三人 ♪ご飯がすすむくん、ご飯がすすむくん♪♪ご飯がすすむくん、ご飯がすすむくん♪

○香織、走って登場。

香織 やばい!やばい!遅れる!遅れる!

長谷川 雨の影響で電車、遅れてます、

香織 あー良かった!間に合った!

○長谷川、持ち場に戻る。

文音 あれっ、香織ちゃん!?こんな時間にどうしたの?

香織 あっ文音さん!お久しぶりです!文音さんこそ!

文音 私は、あれ、真一を待ってるの!

香織 お二人、仲良いですね!

文音 まつまあねーところで、こんな時間に何処行くの!?

香織 今、大学は夏休みなんですけど、ほら明後日、花火大会あるじゃないです

か!そのの実行委員会に入っていて、打ち合わせがこれからあるんですよ!

文音 へえー、そんな委員会があるなんて知らなかったなあ!

香織 学生では他に何人かいて、町内会の方と混じってやってるんです!

文音 でも、こんな時間からやるなんて、帰って来れるの!?

香織 いや向こうで泊まりになります!ほらっ花火って夜やるもんだから、夜に

しか出来ない事もあるんで!

文音 へーそうなんだね!でもなんだか楽しそうだね!

香織 はい、楽しいです!毎日がワクワクなんです!そういえば、姉に聞きました

た、文音さんは美容師やられてるとか!?

文音 そうなの!そういえば、裕子は元気にやってるの!?

香織 はい、相変わらず、推しメンを追いかけてますよ!

文音・香織 笑い

樹生 文音、こちらは?

文音 あっ、紹介するね!中学の同級生に裕子っているんだけど、その妹の香織

ちゃん!ここの姉妹とは仲良くしてもらっていて、中高時代はずっと一緒

のクラスでに遊んでたんだよ!

樹生 そっか、小学校3年ぐらいまでは、女の子と遊んでたけど、高学年になる

と、野球の部活で遊ばなくなったよなあ!

香織 はじめまして、菊池香織といいます!

樹生 はじめまして、森 樹生といいます。森工務店の若頭、大工やっています!

文音 自分で若頭って、おかしくない?

樹生 うるさいなあ、いいだろ別に!

文音 樹生、相変わらずだね!

樹生 たくっ!

香織 樹生さん大工なんですわね!なんか腕とか太くないですか?



樹生

よく聞いてくれました！この上腕二頭筋、この大腿四頭筋、下腿三頭筋太、  
もも周りは、毎日、トレーニングで鍛えています！

香織

毎日つて、凄い！

樹生

はいっ！筋肉バカは褒め言葉ですからー

文音

樹生、誰も言っていない！

樹生

えっ空耳？おかしいなあー

文音

そしてこちらは、東京からー、

耕司

あっあー内海耕司です。親戚の叔母が烏山に住んでいて、お世話になった  
叔父さんの線香を上げに来ました、

文音

耕司さんは、美矢子さんの甥御さんなんだよー

香織

へえー耕司さんは何をやってるんですか!?

耕司

いちおう、役者をやってますー

香織

凄い！テレビとか出てるんですか？

耕司

テレビとかはまでは・・・

香織

俳優さんつて、いろんな人の人生を体感出来るから羨ましいです！

文音

私なんか東京でやってるだけで凄いつて思う、耕司さん、スタイリッシュ  
でイケメンだし、すぐに声が掛かりますよー

耕司

そうだといいいけどね・・・

樹生

やりたい事をやってるつて羨ましいよ！俺なんかさ、家が工務店で、長男  
だし、小さい頃から大工の話しを親父から聞かされてたから、他の選択肢  
が無かったなあー、

文音

私は、カリスマ美容師に憧れたんです、でも現実には甘くなくて、朝早くか  
ら店の準備をしたり、髪染めするのに強い液体使うから手があれちゃつて、  
何度も美容師辞めたいつて思った事か・・・でも、何人もお客様の担当に  
なつて、楽しく仕事出来るようになったんですよー

【SE】警笛音が鳴る。

○長谷川、待合室に入ってくる。

長谷川

今、連絡が入つて電車が復旧しました。もうすぐ到着します、

香織

良かった！乗り遅れないうちにホームで待ちますー

文音

香織ちゃん、またね！

香織 文音さん、会えて良かったです！

文音 私もー

香織 皆さん、花火大会楽しみにしててくださいね！

樹生 おう、楽しみにしてる！

耕司 ……

長谷川 ホイホイホイ、切符拝見！

○香織、長谷川に切符を見せ、ホームに入る。

【SE】電車が到着する。

長谷川 からすやま〜からすやま〜お忘れ物などないよう、お願いします。（笛を吹く） 出発進行！

【SE】電車が発車する。

○改札口から、森智美が登場。長谷川、智美の切符を受け取る。

智美 お兄ちゃん、ただいまー

樹生 あっ智美！遅かったじゃないか。何やってたんだよ、

智美 遅かったって電車止まってたんだよ、

樹生 そうだったーからすやま線、大丈夫かな・・・

樹生 智美、無事で何より・・・それなら連絡くれればいいのに、

智美 携帯の電池が切れちゃてー、

樹生 あれっ、電車で充電ってできないんだっけ？

智美 何言ってるの!? そんな便利なものは無いよ！

樹生 そうか悪りい、悪りい、紹介するよ、俺の妹で智美って言うんだ、

智美 はじめまして、森智美と言います。大学4年です、

文音 智美ちゃん久しぶり！覚えてる!?

智美 ああ！文音さん、名前の由来が印象的で覚えてます！

文音 覚えててくれたんだ！嬉しい！「あのね」「だよね」「そうだよね」「ね」

樹生 は人を優しくするから文音になったんだよね、

樹生 そうなの!? 俺、何で樹生って言うんだろ!?

文音 …… 智美ちゃん、私、美容師やってるの、カットモデルやらない!?

智美  
いいんですか!? なかなかイメージしたヘアースタイルにならなくて悩んで  
ましたー

文音  
ヘアカットは美容師との相性だよ、頭の形、どんな髪の手入れをしてると  
か、どんな食べ物食べてるとかで髪質が違うよ。あげたらキリないけど、  
国によっても髪質が違うんだよ。その国の「水質」が違うでしょ、気温だつ  
たり、太陽の光のあたりかただったたり・・・

樹生  
へえーそう言われたら、違うかもな、

智美  
面白いですね、一人、一人、違うんですね、そういうえば、お兄ちゃん、天  
パーだよね!?

樹生  
はあ!? 天パーはやめろよ。気にしてるんだから、天パーじゃなくて、癖毛  
です、

智美  
いいじゃん、天パーは天パーでしょ!

樹生  
お前、うるさい。何で帰って来たんだ!?

智美  
お兄ちゃんが呼んだんでしょ!? 話しがあるって・・・

樹生  
ああ、そうだった・・・

文音  
癖毛は、その人の個性だよ。必ずしもストレートがいいってわけじゃなく  
て、逆にストレートの人は癖毛を羨ましく思う人がいるから、気にしなく  
ていいと思うよ、

智美  
「気にしなくていいと思うよ!」

樹生  
お前に言われると、何か腹立つなあ、

文音  
だから、短くしてるんだね!?

樹生  
まあそうなんだけど・・・

文音  
こちら内海耕司さん、東京から来たイケメン俳優!

耕司  
イケメンってーあつ内海耕司っていいます、

智美  
えっ!? 東京ですか!? 東京の何処ですか?

耕司  
葛飾区ー

智美  
私も東京に住んでいて世田谷区なんです、  
そうなんだ、

耕司  
同じ東京ですねー

智美  
まあ、東京って言っても、東と西で離れてるしー

智美  
私、4年なのに、まだ就職先、決まってる・・・

樹生  
お前なら大丈夫だって! 決まるのも時間の問題だ、

智美 そうかなあ、私、要領悪いから、

樹生 大丈夫だって！いざとなったら森工務店で雇ってやるから！

智美 それうちの会社でしょ！

樹生 俺がバリバリ仕事取ってくるから大丈夫だって！

智美 ほんとかな、信用していいの!?

樹生 ああつ、今じゃ周りから若頭なんて言われてるんだ、

耕司 自分からじゃなかったんだ！

樹生 そこっ！

耕司 失礼！

文音 樹生、凄いいじゃん！

樹生 智美、そろそろ帰るか!?

智美 うん帰ろう・・・

樹生 皆さん、俺たちこの辺で・・・

文音 樹生、気をつけてね！智美ちゃん、会えて良かった！そうだ連絡先教えて！

智美 いいですよ！

樹生 文音、浮気なんかするなよ！

文音 樹生、何言ってるの!?! そんな事するわけ無いじゃん！

樹生 冗談だって！またな！

智美 文音さん、何があったか知りませんが、お兄ちゃんの言う事なんか気にしないで！

文音 智美ちゃん、ありがとう！後で連絡するね！

智美 皆さん、それじゃ、おやすみなさい！

耕司 皆さんって、二人しかいないよねー

文音 まあねー

○樹生、智美、待合室を出る。待合室に土橋登場。

文音 真一ー！

真一 ごめん！ごめん！仕事終わらなくてさ、まいったよー

文音 電話したんだよ！掛けてきてよ！

真一 悪い、悪い、「釣り船新海」に明日の朝、団体客の予約が入ったから、

最終電車は次の街へ シーズン2

文音

至急、エサを用意して欲しいって言われてき、それで遅れたんだよ！  
それなら連絡してくれたらいいのに！

真一

連絡するって言っても運転してたらできないよ！

文音

出発する前とかさ、配達が終わった時とかさ！

真一

だから、それどころじゃなかったんだよ！

文音

ほんとに!?

真一

なんだよ、それ！俺がウソついてるとでも言うのかよ！

文音

そんな事、言っていないじゃん！

真一

そう言う風に聞こえたぞ！

文音

ホントは寝てたんでしょ！

真一

なわけないだろ！何で俺がウソつくんだよ！

文音

怒られたくないから？

真一

はっ!?! うっせーなあ！

文音

それは、こっちの台詞よ！

真一

もういいよ！送ってやんないぞ！

耕司

まあまあまあ、喧嘩はやめましょう！

長谷川

やれやれ！もつとやれ！

耕司

駅長さん！

長谷川

あつ、いけねえー、

○長谷川、ホームへ入り、真一、文音を連れてくる。

長谷川

喧嘩もほどほどにね！まあ喧嘩するほど仲がいいって言うしー

文音

ふんっ！

真一

なんだよ！

文音

なんでも無いわよ！

長谷川

あらあらあら、あとは任せたよ！私は仕事があるので、ごめん！

○長谷川持ち場に戻る。

耕司

ああっ！ ちよつと！まいったなあー、

2人

・・・

耕司 あっ、ああーおっ、俺、内海耕司って言います！

真一 おっ、俺は、土橋真一、今、釣具屋で働いてるんだー

耕司 へえー釣り好きなんだー

真一 まあね！釣りの事なら、なんでも聞いてよ！烏山の釣りキチ真一とは俺の事だ！

文音 何言ってるのよ！釣りしか出来ないんじゃないの！

真一 なんだと！

耕司 もうやめましようー何で俺が巻き込まれてるんだ・・・

文音 そうそう、耕司さんは、美矢子さんの甥御さんで東京で俳優をやってるんだから！

真一 ふーんそうなんだ！

文音 声もいいし、イケメンだし、ブレイク寸前なんだから！

真一 まだブレイクしてないんでしょ!?

文音 何言ってるの！ブレイクするんだから！

耕司 ブレイク、ブレイクって恥ずかしいんだけど！

文音 あらっ、ごめんなさい！とにかく耕司さんに会えるなんて貴重なのよ！

真一 分かりましたよ！

文音 何その言い方！

耕司 褒められてるのか、けなされてるか分からない・・・

○佐知、待合室に入ってくる。

佐知 あれっ!?! 真一くん居るじゃない！

文音 真一、今、来たんだー、

佐知 そうなの!?! それじゃ、一人で帰ろうかな(笑)

文音 待つてよ！私もお母さんと一緒に帰る！

佐知 何かあったの!?! 真一ちゃんと帰ってきたらいいんじゃない!?!

文音 やだ！私、真一と帰らない！

佐知 珍しいわねー、だいぶおかんむりのようね！真一くん、ごめんね！

明日にはケロっとしてるから気にしないでね！

真一 ああーはい・・・

文音 あっ、お母さん紹介します、こちら内海耕司さん東京から来ていてー

最終電車は次の街へ シーズン2

耕司 はじめまして、内海耕司ですー、

佐知 こちらこそー

真一 文音、一緒に帰ろうー送ってくよ！

文音 いいよ！お母さん来たから、お母さんと一緒に帰る！

真一 じゃあ、俺、帰るわ！さよならー、

文音 さようならー

○真一、テクテクはけていく。

佐知 ホントにいいの!? 仲直りするなら、今だよー

文音 いいんだって、少しは頭冷やせばいいのよ！

佐知 今日は一緒に帰るけど、帰ったら連絡するのよ!?

文音 ……

佐知 文音ー、

文音 分かったー連絡するー、

○美矢子、待合室に急いで入って来る。

美矢子 耕司君お待たせしましたー、

佐知 あれ!?美矢子!?烏山高校の美矢子!?

美矢子 もしかして、さっちゃん!? 演劇部で一緒だった、

佐知 そう、大江佐知。今は望月だけどね、

美矢子 懐かしい高校以来だわー、

佐知 そうだねー。美矢子は変わらないね、

美矢子 何言ってるのよー佐知こそ変わらないじゃないー、

文音 お母さん、美矢子さんと知り合いだったの!?

佐知 そうよ！美矢子とはクラスは違うけど、同級生で同じ演劇部だったの！

文音 そうだったんだ！

美矢子 さっちゃん、文音ちゃんて、もしかして望月君との間の子!?

佐知 そうよー

美矢子 そうなんだーあなたたち、お似合いだったもんねー

佐知 それより、美矢子、卒業公演の時によく稽古した、あのシーンやらない!?

美矢子 ええー、ここで！

佐知 いいじゃない！

美矢子 でもー、

佐知 いくわよ！

美矢子 えっ、えー

佐知 ジョセフィーニユ、どこまでも、どこまでも一緒に行こう！

美矢子 カっ、カンパレルナ、私たちこれから、どうなるの!?

佐知 心配するな！君のためなら僕の身体なんか焼かれても構わない！

美矢子 カンパレルナ、私のためにそんな事してほしくないわ！

佐知 ジョセフィーニユ、大丈夫、君のためなら、なんでもできる！

美矢子 カンパレルナ、私、嬉しいわ！

佐知 どこまでもどこまでも一緒に行こう、

美矢子 さっちゃん、このお芝居、皆んなで卒業公演の時、練習頑張ったよね。今

でもセリフ出るもんー、

佐知 うん、それに私もあんな燃えるような恋がしたかったなあ、

美矢子 芝居と現実の違いももんねー

2人 お母さん！叔母さん！

佐知 何っ!?!どうしたの!?

2人 ……!?

美矢子 急におばさん2人が高校演劇部に戻っちゃったからね。驚いちやうわよね

耕司 ああ、びつくりしたー

文音 私は何がなんだかー

美矢子 ところで、さっちゃん、文音ちゃんはいつ産んだの？

佐知 23の時「子供が子供を産んだ」なんてからかわれたわー、

美矢子 私も同じよ。娘の絵美を産んだのが24だったから。ほとんど仕事なんか

したことないの、

文音 そうか絵美さんかーどうしてるかなー

美矢子 この時期、稼ぎ時とか言って飛び回ってるわ！

佐知 娘さん、何の仕事してるの!?

美矢子 旅行代理店よー忙しくて、滅多に帰って来ないのー去年帰ってきたのは実

に5年振りーそしてそれが夫の命日になるなんてねー、今年のお盆は耕司

くんがきてくれたから、お墓参りも寂しくないわ、



佐知 何も知らなくて、ごめんね。

美矢子 いいのよ、気にする事ないわーちょうど明日、耕司さんと墓参り行くんだけど、さっちゃんも一緒に行かない!?

佐知 そうね、行かせてちょうだいー

美矢子 分かった!それじゃ、掲示板に書いておくから、ここで待ち合わせね(美矢子、掲示板に予定を書く)

○幸恵、待合室に入ってくる。

幸恵 長谷川さん!

美矢子 あらっ幸恵さんっ!?

幸恵 美矢子さん、珍しいわね、こんな遅い時間に!

美矢子 甥の耕司を迎えに!

幸恵 そうだった!そうだった!

佐知 幸恵さん、お久しぶりです!

幸恵 さっちゃんも久しぶり!お店に来ないから、どうしてるのかと思ったわよ!

文音 お母さん、幸恵さんも知ってたんだー

幸恵 さっちゃんも、美矢子さんもこーんな小さい時からー

文音 凄い!なんで!?

佐知 実は幸恵さん、その昔、烏山高校の用務員だったのよ!

文音 えーっ、うっそー!

○長谷川、待合室に入ってくる。

長谷川 幸恵さん、呼びましたか!?

幸恵 長谷川さん、今日、雨でお客さん少ないから、顔だしなさいよ!

長谷川 そうなんですネ!ひと段落ついたら顔出しますネ!

幸恵 そうだ、あなた達も来て!

佐知 美矢子、久しぶりに会ったんだし寄ってかない!?

美矢子 そうね、耕司くんも行きましょうー、

耕司 いいですよー、

文音 わあーい!幸恵さんの料理食べれる!

幸恵

長谷川さん、待ってるね！

○美矢子、佐知、耕司、文音、幸恵、外へ出る。

長谷川

さあてと、仕事、仕事！

【SE】夜の虫の音

○長谷川、待合室を一回りして駅長室に戻る

シーン2

【土曜日】

●照明●清々しい朝（緑を入れる）

【SE】朝の効果音 【SE】警笛音。 【SE】電車が到着する。

長谷川

からすやまゝからすやまゝお忘れ物などないよう、お願いします。  
（笛を吹く）出発進行！

【SE】電車が発車する。

○長谷川、改札に入る。眠たそうに香織待合室に入ってくる。

香織

おはようございますー

長谷川

ずいぶんと眠たそうですね。昨日は徹夜だったんですか!?

香織

そうなんですーなかなか雨が止まなかつたので、はかどらなくてー

長谷川

それはそれは、ご苦労様です！

香織

はい、ありがとうございます、

○樹生と智美が待合室に入ってくる。

樹生

あつ！

香織

おはようございますー

智美

あつ香織ちゃんだ！

香織 あっ、智美さん、いつ東京から!?

智美 昨日の夜22時ぐらいー

香織 22時ぐらい!? 私と入れ違いですねー

智美 そうなの!? 何処に行つてたの!?

香織 今、明日の花火大会の実行委員会に入っていて、いろいろ準備で動いてましたー

智美 へえー凄い! そんな事もやるんだ!

香織 子供の頃は、スーパ―とかで花火セットを買ってもらつて、お姉ちゃんと庭先でやりましたー

智美 やつた、やつた、うちなんか工務店だから、火の粉が移ると火事になるからつて言つて、ロケット花火とか、打ち上げ花火が出来なくて、もの足りなくてさー

樹生 そうそう、親父が厳しくて、友達の家になぎと遊びに行つて、花火をやつたなあー

香織 花火やるのに、そんな苦労があるんですねー

樹生 大人になるとやらなくなったなあー

香織 私は、バケツを用意して庭先でやる花火も好きなんですけど、河原で皆んなで集まつて一緒に見る花火が好きなんですよねー

智美 わかるなあー、屋台の焼きそばとか食べながら見るといいよねえー

樹生 ビール飲みながらは最高!

香織 実行委員会に入つて気づいたんですけど、花火つて時間をめちゃくちゃ掛けて作るんです、打ち上げたら一瞬で終わつてしまふんですよね、暑い夏を乗り切るための、ひとときの安らぎかなつて思うんです。

智美 安らぎかあー

香織 それこそ電気なんて無い時代に、打ち上げ花火を皆んなで見つて、凄く一体感があったり、夜に咲く花を見るような感覚だったり、だけど一瞬で散るー

樹生 花火つて昔からあるけど、ワクワクするよなー

香織 そう、ワクワクさせてくれて、イキイキさが出てくるー

智美 暑いけど、まだまだ頑張ろうつてさせてくれる花火大会に関わつてみたいって思つたんですー

智美 話してると、明日がますます楽しみですー

樹生 ビールいっぱい買い込むぞー

智美 お兄ちゃん！

樹生 まあ、いいじゃないか、一年に一回なんだしー

智美 まあ、いいけどさー

三人 どつと笑う

香織 ところで、何処かへ出かけるんですか!?

樹生 あっ、実は・・・

智美 実は、父がー

香織 お父さん、どうしたんですか!?

智美 私が大学に入って、東京に住むようになってから荒れちゃって、今、父はギャンブルにハマっちゃって、朝からパチンコに行くようになって仕事をしなくなっつてー

樹生 智美が上京して、最初は二人で和氣藹々とやってたんだけど、だんだんそうじゃ無くなつて・・・

智美 母が5年前に事故で他界し、それから家事全般は私とお兄ちゃん分で分担して、なんとかやりくりしてたんだけどー

樹生 ここ一年くらいから酷くなっちゃつてーそれで精神科の先生とかに相談しに行こうとつて話してたんだよー

香織 それは深刻ですねー私で良かったら、お父さんと少し話してみましようか!?

智美 えっ!?!香織ちゃんか!?

香織 えー実は大学では心理学を専攻してるんです、その人の精神状態、感情の状態、身体的な状態、思考と分析する事で、その人が「今、どんなところに居るか」見えてくるんです。そして人は継続している不満や文句、あきらめや皮肉、評価や判断や解釈を取り除いたら、最後は目の前にいる人を「愛している」が溢れてくるそうですー

樹生 愛かー今の親父に「愛」はあるのかなー

智美 お兄ちゃん、香織ちゃんに話し聞いてもらおう!

樹生 そうだな!あきたらめたら終わっちゃうよなー

智美 そうだよ!

香織 それじゃ、すぐ行きましょう!

智美 香織ちゃん、ありがとう!

香織

いえいえー

○樹生、智美、香織を連れて待合室を出る。幸恵、待合室に入ってくる。

幸恵

グッモーニング！

○長谷川、待合室に入ってくる。

幸恵

グッモーニング！ミスターハセガワ！

長谷川

グッモーニング！ミセス ユキエ！

幸恵

トウデイ アイム フロムカラスヤマステーション！

長谷川

オオ！

幸恵

ファイン!?

長谷川

イツツ ファイン！

幸恵

ヤー、プレゼント フォーユー！

長谷川

サンキュー！サンキュー！ どうしたんです!?

幸恵

ズームイン・サタデー！

長谷川

ズームイン・サタデー!?

幸恵

ウィッキーさんのワンポイント英会話を見たら、やりたくなったのー

長谷川

朝って感じですねー

幸恵

今日のモーニングは、ハムチーズサンドイッチ

長谷川

おっ！

幸恵

たまごサンドイッチ

長谷川

おおっ！

幸恵

レタスサンドイッチよ！

長谷川

・・・

【SE】踏切の警笛音が鳴る。

○文音、待合室に掛け込んで来る。その後、真一登場。

文音

早く！早く！

真一 そんなに急がなくても間に合うよ！  
文音 今日、遅刻したらまずいんだから！駅長さん！  
真一 帰ってくる時、連絡してよー  
文音 分かった！

○文音、ホームに入る。

【SE】電車が到着する。

長谷川

からすやま〜からすやま〜お忘れ物などないよう、お願いします。

(笛を吹く)出発進行！

【SE】電車が発車する。

幸恵

どうしたの!?なんか二人ともギクシヤクしてない!?

真一

そんな事ないですよー、

幸恵

あー分かった!喧嘩したんでしょ!?

○長谷川、待合室に戻ってくる。

真一

幸恵さんにはバレちゃうかー

幸恵

そんなの、見たら分かるわよー

真一

約束の時間に大幅に遅れて迎えにいったら、怒っちゃってー

幸恵

ええー、!?

真一

なんか、俺もカッーつとなっちゃってー、それで・・・

幸恵

それで、謝ったの?

真一

いやっ、まだかなー

長谷川

早く謝ってあげてね!

幸恵

そう、謝るのが一番よ!私、朝の準備があるから、またね!いい魚があつたら、お願いね!

真一

って言ってもねえー

○幸恵、待合室から出る。耕司、美矢子、佐知、待合室に入ってくる。

佐知 電車に乗るなんて久しぶり、大学卒業以来だから何十年ぶりねー

あの頃を思い出すなあー、日曜日になると、観たい映画のために、おしゃれして宇都宮に行ったわー観終わったら、ご飯食べて、ウィンドーショッピング、1ヶ月に一回、バイト代から自分へのご褒美で好きな服を買ったー私は宇都宮に行くと必ず餃子を食べたわ、

美矢子、随分庶民派ね！

美矢子 さっちゃん知らないの!?宇都宮餃子ってメニューが豊富なのよ！

耕司 僕も一度、食べに行った事があってびっくりしました！

美矢子 そうでしょ!?焼き餃子に、水餃子、

耕司 揚げ餃子に、ごぼう餃子、

美矢子 シソ餃子に、カレー餃子、

耕司 僕が食べて美味しかったのは、味噌入りのあんや未曾ダレで食べる、未曾尽くしの餃子ー

佐知 あら、それ美味しそうね!そうだ、今日、3人でお墓参りの後宇都宮に餃子食べに行きましょうよ、

美矢子 あれっ、真一君どうしたの？

真一 文音の送迎でー

美矢子 あら、そうー、

佐知 朝から文音、ピリピリしてたのよー

美矢子 そうなんだー、

佐知 仲良くしてねー

真一 分かってますっつーそれじゃ、俺、仕事あるんで！

○真一、待合室からでる。

【SE】警笛が鳴る。

○長谷川、待合室に入ってくる。

長谷川 上り列車が到着しますよ! ホイホイホイ、切符拝見!

○美矢子、耕司、佐知、改札を通りホームへ。

【SE】踏切の警笛が鳴る。電車が到着する。

長谷川  
からすやまくからすやまくお忘れ物などないよう、お願いします、  
(笛を吹く)出発進行!

【SE】電車が発車する。

○長谷川、待合室に戻ってくる。

長谷川  
さて、今日も暑くなりそうだー

【SE】蝉が鳴り響く。

●照明●夏の昼間の明かり

○FMからすやまのラジオ番組が聴こえてくる。

●照明●夕暮れから、雷雨。

【SE】ゲリラ豪雨。

長谷川  
また降ってきた!電車、大丈夫かな!?

【SE】警笛が鳴る。

長谷川  
あっ!?来た来た!

【SE】電車が到着。

長谷川  
からすやまくからすやまくお忘れ物などないよう、お願いします。  
(笛を吹く)出発進行!

【SE】電車が発車する。

○長谷川、改札に入る。

○美矢子、耕司、改札口を出てくる。長谷川、切符を受け取る。

耕司  
叔母さん、俺、オーディションの練習したいから、先に帰っててー  
美矢子  
そっう!?それじゃ、終わったら連絡しようだい、すぐに迎えに来るからー



耕司 分かった、連絡するー

佐知 耕司くん、何のオーディションなの!?

耕司 舞台ですー

佐知 そうなんだ! ねえ、美矢子!?

美矢子 何!?

佐知 耕司くんの舞台、観に行きましようよ!

美矢子 そうね、見に行くか、

耕司 ありがとうございますー合格して、がんばります!

佐知 絶対、合格するから頑張つて!

耕司 はいー、

美矢子 後で迎えに来るわー

耕司 ありがとうー、

○美矢子、佐知、待合室を出る。

○耕司、ベンチで脚本を読みながらぶつぶつ台詞を言っている。

【SE】警笛が鳴る。電車が到着。

長谷川 からすやまーからすやまーお忘れ物などないよう、お願いします、

(笛を吹く)出発進行!

【SE】電車が発車する。

○長谷川、改札に入る。文音、改札口から出てくる。

文音 あれっ!? 耕司さんじゃないですかー何処からお出掛けですか!?

耕司 いや、叔父さんの墓参りの帰りー、

文音 ああつ、昨日、行くって話してしましたね!? そういえば、うちのお母さんも一緒だったんですよ!?

耕司 一緒だったよー小塚駅で降りて、そこからバスで15分ぐらいで到着して、墓参りつてなんかこう気が引き締まるねー

文音 そうですよねー私も祖父母の墓参りに行くとそうなります。私、よくお婆ちゃんにお風呂入れてもらった記憶があります。熱いの苦手だったから、早くお風呂から上がろうとすると「カラスの行水」になるよとか、10数

耕司

えたら上がったもいいよーって言われました、  
へえー、そうなんだー、

文音

お小遣いくれる時は、「じいじには内緒だよ」ってくれて、たまに会いに行くとき「会えて嬉しい」って言うてくれて、ホントにいいお婆ちゃんでしたー

耕司

俺は、両方とも葬式に行けなくて、唯一、墓参りだけはしないとあって思っ  
てーで叔父さんのお墓はさーこう高台にあつてさーお墓の向こう側が開け  
てて、田んぼがあつてさー気持ちいい風が時々吹くんだけーそしてお墓を掃  
除したあとは気持ちがスッキリしてさー、

文音

気持ち分かるなー、

耕司

叔父さんは、一緒に遊んでくれたり、東京の引越しを手伝ってくれたり、  
御飯をご馳走してくれたー、

文音

・・・

耕司

でも、俺は叔父さんに何も出来なかつたーなんか「言いたいこと言つて嫌  
われたら、どうしようー」ってさー、

文音

分かるなあー私も、お母さんには言いたい事言えたけど、おばあちゃんや  
おじいちゃんには、本当には、言いたい事言えなかつたなつてー、いつか  
言おうつてしても言えなくて、別れは突然やつて来るー、

耕司

そうだー今月、舞台のオーディションがあつて練習してるんだけどさーな  
かなかイメージが掴めなくつてー読み合わせ手伝つてくれないかなあ!?

文音

えっ!?! 私に!?!出来るかなー、

耕司

大丈夫、読むだけでいいからー、

文音

読むだけならできるかー、

耕司

良かったー24ページの、健吾と貴子のシーン、

文音

これか!?! 2人はどんな関係なんですか!?!  
もともと大学のボート部で、健吾がキャプテンで貴子はマネージャー、社  
会人になつて付き合うようになったんだー

文音

うんうん、

耕司

健吾は今、商社に勤めていて、貴子は高校教師ー、健吾の両親に貴子が会  
う事になつたんだけど、抵抗していて健吾が説得しているシーン、  
面白そうー、

文音

(文音に近づき) ここからやりたいから、こつから読んでー、

最終電車は次の街へ シーズン2

文音 オッケー！いいよ！

文音 そういう設定なんだよ、

耕司 (文音に近づき) ここからやりたいから、こっから読んでよ、

文音 オッケー！いいよ！

文音 私、健吾のお父さんとは会わない、

耕司 貴子、どうしたんだよ、親父に何か言われたか!?

文音 そうじゃないけど、結婚をちゃんと考えようと思ってよ、

耕司 ちゃんとしてなんだよ！

文音 自分の人生を、もう一度、見つめ直したいのよ、

耕司 人生!?

文音 そう、私の人生よ、

○真一、ゆつくり待合室を覗く。

耕司 俺の事、応援してくれるってよ、

文音 応援はしてる、だけど考えたいのよ、結婚と人生と将来とよ、

耕司 俺は君を愛してる！何処がいけないんだよ！

文音 私も愛してるわ！

真一 お前っ何やってたんだよ！

○真一、耕司に掴みかかる。

文音 真一、やめて！

耕司 何すんだよ！

真一 文音をどうする気だっ！

文音 だから、違うの！

耕司 この手を離せよ！

文音 真一の誤解なの！

○樹生、智美、香織、待合室に入ってくる。

樹生 真一、やめろよ！

文音 耕司さん、やめて！

智美 2人ともどうしたんですか!? 何があったんですか!?

文音 お芝居の稽古してるのに、真一が誤解したのよ!

智美 本当ですか!?

文音 これ、その台本ー

香織 確かにこれは台本ですね!?

文音 もう、やだっー! 真一!

真一 誤解を招くような事してるからだよ!

樹生 まあまあ、ここは話し聞こうぜ!

真一 ……

樹生 俺も文音は怪しいって思うけど、一旦、落ち着こう!

文音 ちよつと樹生! あんたも何言ってるのよ!

樹生 冗談だよ!

文音 他人事だと思つて、ひどいよー

香織 樹生さん、今日の事、話してみたらどうですか!?

樹生 今日の事!?

香織 ほらっ、お父さんの関係がよくなった話ですよー

樹生 恥ずかしいなあー

智美 お兄ちゃんー

樹生 よしっ、分かった! 話すよ! つい数時間前まで、俺は親父を軽蔑してたー

頑固で、正直な親父を俺は子供の時に尊敬してたし、実は怖かったー

耕司 怖かった!?

樹生 親父は、大工の棟梁つて表向きは、かつこいいけど、家の中では何をす

るかかわらない存在だったーかんしゃくを起こすと、物は投げるは、壊す

わで、家の中は大変だったー

智美 私、それがいやで大学は家から通えない、東京の大学にしたのーお父さん

の目、怖くて見れなくて、まともに話した事ないー

文音 あのお父さんからは、想像付かないねー

樹生 外面はいいからな、典型的な内弁慶さー恥ずかしい話、親父は最近、ギヤ

ンブルにハマっちゃって、毎日、パチンコに行くよになってさ、しまいにや

借金までして、家は火の車さー俺は、あらゆる手段を使つて、ギャンブル

しないようにやったけど、どれも駄目だったー

智美 私、そんな事とはつゆ知らず、お兄ちゃんに聞かされた時は、正直、「あ  
あつここまで来たか」ってなりましたー

樹生 今朝、香織ちゃんと偶然会った時に、親父の事話したら話し聞いてみるっ  
て言ってくれてー

文音 それで、どうなったの!?

樹生 ひぎが付くぐらい親父と対面して、「親父の悪いことを叫び続けた」

文音 えっ!?マジっ!?

樹生 「お父さんのバカやろー!」 「なんでお父さんギャンブルなんかやるんだ

よ!」 「ちゃんと仕事しろよ!」 「お父さんなんて嫌いだよ!」 「お父さ

んを俺たちを愛してよ!」

智美 私もやりました!

文音 智美ちゃんも!?

智美 「お父さんのバカやろー!」 「お父さん、暴力振るわないでよ!」 「お父

さんなんて、最低で最悪!」 「お父さん、いい加減にしろー!」

香織 これだけでは、バランス悪いんで、「お父さんのいいところ」も叫びました!

樹生 「お父さん、好きだよ!」 「お父さん、かっこいいよ!」 「お父さん、尊

敬してるよ!」 「お父さんが作った家、最高だよ!」 「お父さん、愛して

るよ!」

智美 「お父さん、大学行かせてくれて、ありがとう!」 「お父さん、お母さん

の分も頑張ってくれて、ありがとう!」 「お父さん、好きだよ!」 「お父

さんと、もっと話したいよ!」 「お父さん、愛してるよ!」

香織 そして、その後に、お父さんにもやってもらいました!

文音 で、どうなったの!?

樹生 親父と智美と三人で、2時間、叫んで外に出たら、烏山の景色がキラキラ

してさー

智美 おいしげった木々がまぶしくてー

樹生 小学校の夏休みを思い出したよー

智美 お互い、いいこと言っていない、あきらめや皮肉の世界にどっぷりハ

マって、泥沼状態でしたー

樹生 ホント、頭ん中スッキリして、親父は、ギャンブルはもうしないって言っ

てくれたんだー

香織 樹生さん、智美さん、凄い成果です!おめでとうございます!

樹生・智美 ありがとう！

香織 私も頑張らないとー

樹生 何か言った？

香織 いえ、何でもないですー

文音 なんかさ、樹生と智美ちゃんの話し聞いてたら思い出しちゃたー

智美 何ですか!?

文音 小学校の時に歌った グリーングリーンー

香織 グリーングリーン!?

文音 私、お父さんが大好きでね、小さい時は「高い、高いして」って言つてよくやつてもらつてたのーお父さんに、「文音は、重たくなつたな」って言われるのが嬉しかったー「成長したね」って言われているみたいでーでも、お父さん、出張が多くてね、一か月帰つて来ないなんて、ざらだつたのー

樹生 そうなんだー

文音 そんな時、グリーングリーンを思い出して、お父さんの気持ちが少し分かつた気がしたんだー

耕司・真一

○文音 グリーングリーンを歌い出す

ある日 パパとふたりで語り合つたさ

この世に生きるよろこびそして悲しみのことを

グリーングリーン 青空にはことりがうたい

グリーングリーン 丘の上にはララ 緑がもえる

その時 パパがいったさ ぼくを胸にだき

つらく悲しい時にも ラララ 泣くんじやないと

グリーングリーン 青空にはそよ風ふいて

グリーングリーン 丘の上にはララ 緑がゆれる

○長谷川、待合室に入つて来て一緒に歌う。

○香織、智美、樹生、だんだんに乗ってくる。

最終電車は次の街へ シーズン2

長谷川 いやー久しぶりにこの歌、歌いましたよ！皆さん上手ですねー  
一同 どつと笑う

○真一、待合室を出る。

長谷川 あれっ!?

樹生 おいつ！待てよ！真一!!

○樹生、真一を追いかける。

智美 真一さん大丈夫かなっ!?

文音 真一は大丈夫っ、

香織 そうですよね、

耕司 ……

○樹生、待合室に戻って来る。

樹生 追いつけなかったー

文音 いいんだよ樹生っ、ありがとう！

樹生 それじゃあ、文音、家まで送るから車に乗れよ！

文音 うん、分かったっー

樹生 智美、帰るぞっ！耕司さんも一緒に乗せて行きますよー

耕司 俺は、叔母さんと呼ぶんで大丈夫です！駅長さん、駅の電話貸して下さいっー

長谷川 どうぞ、使ってくださいー

【SE】警笛が鳴る。

長谷川 あっ!?!最終電車が来ますよ！

香織 今日も実行委員会で電車に乗ります！

文音 香織ちゃん、ありがとう！

香織 皆さん、明日の花火大会、来て下さいね！

樹生 おう！絶対行く！

智美 観に行くよ!

長谷川 ホイホイホイっ!切符拝見!

耕司 . . .

○香織、改札からホームへ移動する。

【SE】電車到着。

長谷川

からすやまくからすやまくご乗車ありがとうございます!お忘れ物など  
ないよう、お願いします!

(笛を吹く) 出発進行!

【SE】電車発車する。

○樹生、文音、智美、待合室から出る。

○耕司、一人、待合室で佇んでいる。耕司、駅の電話で美矢子に掛ける。

耕司 叔母さん . . . 駅まで迎えに来てくださいー

○耕司、ゆつくり受話器を置く。

【SE】貨物列車の通り過ぎる音。

○耕司、ベンチに座り考え事をしている。幸恵、待合室に入ってくる。

幸恵 長谷川さん!お夜食、持ってきたわよ!あらっ、耕司くん、どうしたの!?

耕司 何でもないですよー

○耕司、考えている時の仕草を出す。

幸恵 耕司くん、昔と全然変わってないー

耕司 何ですか!?

幸恵 ほらっ、考え事する時、こう、爪を噛むでしょー

耕司 ああっこれはー

幸恵 ほらっ、頭の中のものを出してみなさいよー

耕司 . . .



幸恵 ねっ

耕司 …… 叔母さんに言っただけで、あの「文音ちゃん」とは、幼稚の時、一緒に教室だったんだー

幸恵 あーっ、確か3人組みで遊んでたわよねー

耕司 樹生とも幼馴染みで、一緒に遊んでたんだー

幸恵 それじゃ、懐かしいから盛り上がったでしょ!?

耕司 いや……

○美矢子、迎えに待合室に入ってくる。

美矢子 耕司くん、お待たせーあらっ幸恵さんも一緒なんですね!?

幸恵 耕司くんと、文音ちゃんと、樹生くんは同じ幼稚園で遊んでたんだって!?

美矢子 あらっ、そうだったの!?

耕司 言えなかったー忘れてると思って……

幸恵 そんな事ないでしょ!?

美矢子 そうよ、そんな事ないー

耕司 文音ちゃん、初恋の人だったんだー

幸恵 あらっ素敵じゃない!

美矢子 初恋かっー

幸恵 思い切って、初恋の人だったって言ってみたらー

耕司 文音ちゃん、真一くん付き合ってるんですよ!? まず真一くんに誤解を解かないとー

幸恵 立ち話もなんだから、うちに来て作戦練りましょう! ねえ、美矢子さんも!?

美矢子 ええー、そうねー、

幸恵 さあさっ、行きましょう!

耕司 ……

○耕司、幸恵、美矢子、待合室を出る。

長谷川 幸恵さん、お待たせしました! あらっ、居ない……おかしなあー

シーン3

【日曜日】

○朝、夏の環境音。

【SE】警笛が鳴る。電車が到着する。

長谷川

からすやまくからすやまくご乗車ありがとうございます！お忘れ物などないよう、お願いします！

【SE】電車の停車音

○改札口から、香織が待合室に入ってくる。長谷川、切符を受け取る。

香織

おはようございますー

長谷川

今日も花火大会の準備で徹夜ですか？

文音

やばい！やばい！遅れちゃう！

○文音、佐知、待合室に入ってくる。

文音

駅長さん、上り電車って、もうすぐ来ますか!?

長谷川

もう到着してますよ！良かったですね、間に合って！

文音

あっ!?! 香織ちゃん！おはよう！昨日はありがとねー

香織

おはようございます！

文音

香織ちゃん！これから帰って寝るの!?

香織

そうなんです、もうヘトヘトでー

文音

私はお店休みなんだけど、午前中へアカットの講習会ー

香織

頑張っして下さいね！

文音

ありがとうございます！

【SE】長谷川ベルを鳴らす。

長谷川

上り列車が発車しますよ！定期！定期！

文音

はいっ！

○文音、改札口からホームへ移動

長谷川

(笛を吹く) 出発進行!

【SE】電車が発車する。

○幸恵、待合室に入ってきて来る。

幸恵

長谷川さん!朝ご飯ですよ!

香織

幸恵さん、おはようございます!

幸恵

あらっ香織ちゃん!実行委員会頑張ってる!?

香織

はい!お陰様で、今日の花火大会楽しみです!

幸恵

あらそうー私も楽しみ!

佐知

幸恵さん、おはようございます!

幸恵

あらっ、さっちゃんまで!朝、駅に居るなんて、珍しいわね!

佐知

文音の送迎でー

幸恵

あっ、そうだ、真一くと文音ちゃん、どう?仲直りできた?

佐知

まだみたいなんですよねー

幸恵

まあ、まだ若いからねーすったもんだあった方が、こっちは面白いけどねー

佐知

そんな他人事みたいに言わないで下さいよー

幸恵

こっちは、色恋なんて随分無いから楽しみなのよー

佐知

幸恵さん?

幸恵

私には、皆んな孫みたいなんだから、かわいくて仕方ないのよー香織ちゃ

んは?

香織

えっ?何ですか?

幸恵

いい人いないの?

香織

えっ、私ですか?まあー

幸恵

いるのねーねえ、どんな人?

香織

どんな人と言われてもー

佐知

香織ちゃん、照れて可愛いわね!

香織

今、一緒に実行委員会やってる方で、いいなあって思う方がいるんですけ

どねー

佐知

あらっ、やるじゃない!

幸恵

それで、それで、その人とは、デートしたの?

香織 いやっ、まだデートとかはまだなんですけどねー

幸恵 そっか、残念ー

佐知 まあ、花火大会もあるから忙しいのよねー

香織 そうですねー今、花火大会を成功させるのに集中してるんで、落ち着いたらって感じですかねー

幸恵 いい事思いついた！

佐知 いい事？

幸恵 今日、花火が上がっている時にデートに誘うってのはどう？

佐知 それいい！いいじゃない、それ！香織ちゃん、どう？

香織 いや、突然そんな事、言ったら変に思われちゃいますよ！

幸恵 そりゃ、突然そんな事言ったら変だけど、いい事思いついたから花火大会

行く前に駅に来て、伝授してあげるからーいいわね！

香織 分かりました！ちよと嫌だけど、ワクワクしてきましたー

佐知 凄い！頑張ってる！

香織 はい、ありがとうございます！では失礼します！

○香織、待合室を出る。長谷川が待合室に入って来る。

長谷川 幸恵さん、いつもありがとうございます！

幸恵 今日はねトンポーローよ！

長谷川 トンポーローなんです！楽しみだな！お盆もお店やるんですか？

幸恵 今日は町内会の花火大会があるでしょ!?仕出しの注文があつて、これから準備なの

長谷川 それは知らなかった！お弁当ありがとうございます！

幸恵 それじゃ！

○長谷川、幸恵、待合室から去る。真一、待合室に現れる。

佐知 あらっ、真一くん、やっぱり心配して来てくれたのねー

真一 たまたま通りかかっただけですー

佐知 文音は、無事、電車に乗って仕事に向かったわ

真一 そうなんだ・・・

佐知 あの子、私に似て聞かないところあるからー

真一 えっ!?おばさんに!?

佐知 まあね、私も勉強そつちのけで演劇部に入って芝居に没頭したわーおかげ

でギリギリになって大学の試験勉強したもんだから、親や学校の先生、友達に心配掛けて、周りの人に手伝ってもらって、なんとか試験に合格。

味をしめちゃったもんだから、大学に入っても授業そつちのけで、演劇サー

クル内では「芝居バカ」なんて言われちゃって、私には褒め言葉に聞こえたけど、うちの親には怒られたわー

真一 意外ですね

佐知 そうなの、文音には自分が思った事をやらせてあげたいのよー、そりゃあ、

心配は心配よ、だけどそれで、やりたい事やらせてあげなかつたら、お互い心の平安が無いじゃない!?

真一 まあ、そうかも知れないですねー

佐知 文音が美容師になりたい、学校に行きたいって言って来た時、「この子に

できるのかな」って思ったけど、真剣な目をして「夢を与える美容師になりたい」なんて言われたら、自然と「応援してるね」って言葉が出てたわー

真一 おばさんー

佐知 真一くん、文音はあなたを待ってるわーがんばって!

真一 ……

○佐知、待合室から出る。

○樹生、智美の声が聞こえてくる。樹生、智美が待合室に入ってくる。

真一 樹生さん!?

樹生 あっ、真一!昨日はどうしたんだよ!

真一 樹生さん、すいません!

樹生 すいませんじゃないよ!皆んな心配してたんだぞ!

真一 俺、どうしたらいいか分かんなくて……

樹生 気持ちは分かるけどさー

智美 文音さん「真一は大丈夫」って言っていました、

真一 文音が!?

智美 そうですー

真一 そうかー文音がー

樹生 あの耕司さんとは、何にも無かったんだから忘れろよー、忘れて、文音に謝っちゃえよ！

智美 私もその方がいいと思いますー

真一 分かってるんだけどねー

樹生 昨日、親父と俺と智美と三人で、お互い言いたい事全部言ったらスッキリしてさ、今日から親父、仕事しだしたんだ！

真一 それは凄いですね！

智美 私も最初、お父さんにそんな事言いたくないし、やりたくないってあったんですが、一步踏み出したら、あつという間に楽になりましたー私、ずっと家族にも周りにも「私は大丈夫だよ、気にしてないよ」って平気なフリをしていたんだって発見がありましたー

真一 そうなんだー

樹生 話しないとき「親父ってこうなんじゃないか」「俺の事、愛してないんじゃないか」って頭の中でグルグルするけど、話したら、どうでもよくてさ、長い時間、何やってたんだろうって笑えるようになったよー

智美 真一さん、文音さんは大丈夫です！真一さんを待ってますよ！

真一 教えてくれて、ありがとうー

樹生 夜、町内会の花火大会があるじゃん！智美も行きたいって言うし、普段着で参加しても風情が出ないから、今から浴衣を買いに行くんだ！

智美 久しぶりに、からすやまの花火を味わうので楽しみなんです！

【SE】警笛が鳴る。

○長谷川が待合室に入ってくる。

長谷川 上り列車が来ますよ！

樹生 真一、花火大会で会おう！

智美 真一さん、待ってますよ！

真一 ……

○樹生、智美、改札からホームへ！

長谷川 ホイホイホイ、切符拝見！

【SE】電車到着。

長谷川

からすやまくからすやまくお忘れ物などないよう、お願いします！  
(笛を吹く) 出発進行！

【SE】電車発車

○長谷川、待合室に戻ってくる。

長谷川

今日は仕事休みなの!?

真一

まあ、お盆だしねー「釣り船新海」には朝方、荷物運んだしー

長谷川

んー、おじさんのお願いを聞いて欲しいんだけどー

真一

はあー!?

長谷川

あの憎たらしいほどのイチャ付きを早くみたいわけよーあの光景を見てる  
と世の中平和だなんて思えるし、私も若さを取り戻すしー

真一

駅長さんは無いんですか!?

長谷川

えっ!?

真一

駅長さんは、誰かとイチャイチャする事無いんですか!?

長谷川

大人をからかうもんじゃないよ!

真一

例えば、幸恵さんとか!?

長谷川

バカ言うんじゃないよ!幸恵さんは、そんなんじゃないよー

真一

じゃあ、なんなんですか!?

長谷川

第2のお袋さんかなー

真一

お袋さん!?

長谷川

私の両親は健在でねー定年退職して、今は離れて暮らしてる。たまに帰つた時に、一緒に酒を飲むのが唯一の楽しみでねー

真一

なんで近くにいてあげないんですか!?

長谷川

「ふるさとは遠きにありて思ふもの、そして悲しくうたふもの、よしや」  
なんてね、すぐに会えない方が親のありがたみ分かるもんさー

真一

そんなもんですかね!?

長谷川

そんなもんだよーまずあれだな、親離れして自立しないとだなー

真一

いやー朝起きれるか自信ないなあー

長谷川　そこっ！社会人になったんだし、文音ちゃん、早く自立して欲しいと思っ  
てるよ！

真一　考えとくー

○真一、待合室を出る。

長谷川　・・・まずいこと言っちゃったかな、仕事、仕事ー

○長谷川、待合室を出る。　香織、幸恵が待合室に入ってくる。

幸恵　香織ちゃん、待った？

香織　いえ、今、来たところですよーところで幸恵さん、何をやるんですか？  
からすやまに伝わる縁結びよ！

香織　縁結び！なんですか、それ？

幸恵　香織ちゃん、知らない？一種のおまじないなのー

香織　へえーそんなのが、あるんですねー

幸恵　(何やら掲示版に書いている)できた！さあ、名前書いて！

香織　えっ？

幸恵　ほらっ自分の名前書いて！

香織　ちよつと恥ずかしくくないですか、これ？

幸恵　この駅の掲示版で相合傘をやると結ばれるって言われてるのよーかつて、  
美矢子さんや、さっちゃんも結ばれたのよー

香織　えーほんとですか？それは凄い！

幸恵　次は、彼に電話してホームで待ち合わせして、そして、今の気持ちを伝え  
るのよー

香織　でも、大丈夫ですかー駅長さんに言わないとー

幸恵　大丈夫！大丈夫！長谷川さんには私から言っとくからー

香織　そうですかーそれならお借りしてー(受話器に手をかける)

幸恵　あー、待った！

香織　なんですか？

幸恵　手のひらに、人と言う字を書いて、そして、それを飲み込むのー

香織　分かりましたー(手のひらに人と言う字を書いて飲み込む)



香織

・・・もしもし、私、香織ですー菊地香織ー・・・ええ、そうなんです、突然、電話してごめんなさいー(深い呼吸)話したい事があります・・・ええ、からすやま駅のホームに夜7時に来てください。私、待ってます・・・(受話器を置く)

幸恵

香織ちゃん、よく言ってたわー頑張ったわね!

香織

幸恵さん、ありがとうございます!これでモヤモヤが少し晴れました!

幸恵

後は、自分の気持ちをいっぱい伝えるのよ!香織ちゃん、頑張つて!

香織

はい!またご報告します!

【SE】ひぐらしの虫の音

●照明●夕暮れへと変化。

○耕司と美矢子が待合室に入ってくる。

耕司

叔母さん、ありがとう!

美矢子

練習なら家でもできるのにー

耕司

この待合室がなんだか落ち着くんだけー

美矢子

分かる気もするかなー

耕司

えっ!?

美矢子

学生の時は、毎日、この駅を利用したわー

耕司

そうなんだー

美矢子

雨の日も風の日も雪の日もーボランティアで、駅の周りのゴミ拾いしたり、

コスモス植えたり、友達と待ち合わせして遊びにも行ったなあー

デートの帰りに、なかなかさよなら言えなくて、待合室ですーつと話して

たこともあったわ。

耕司

叔父さん!?

美矢子

そう、いなくなると昔の楽しかったことばかり思い出しちゃうー

耕司

俺・・・小さい時に怒られて家飛び出して、ここに来て泣いてたことある

の覚えてるー雨が降ってて、夜暗で、段々怖くなってー駅長さんとかいな

くてーベンチで寝ちゃったのかな。気がついたら、叔父さんの背中におん

ぶされてたー

美矢子

あー、思い出した。もう、大人総出で探したのよー

うちの、山口家の長男でしょ。実は、男の子を欲しがってたから耕司く

んのこと、可愛がってたわー

耕司 叔父さんの背中が、暖かくて、そしたら「何も悪くない気にするな」ってー  
美矢子 そうなのね。あなたが幼稚園の時、この烏山駅の廃止が浮上したのよー  
耕司 ほんとに!?

美矢子 ええー

耕司 知らなかったー

美矢子 駅長さんはじめ、町の皆んなが廃止にだけはしないで欲しいって署名を集めて、なんとか廃止だけは免れたけどー

耕司 けど!?

美矢子 けど、この先にあった白滝駅の一日の乗車人数が、一人以下という理由で廃止になってしまい、烏山駅が事実上終着駅になってしまったーその白滝駅を利用していたのが、叔父さんだったのよー

耕司 考え深いですねー

美矢子 駅って人それぞれ思い入れがあるのよーなんとなく落ち着くのも分かるわあー

○真一、待合室に入ってくる。

美矢子 真一くん!

耕司 あっ!?

真一 耕司さん、ごめんなさい!俺、何も知らないで、勝手に勘違いして、胸ぐら掴んで不快な思いさせちゃってー

美矢子 真一くん……

耕司 いいよ!俺も誤解されるような事したのも事実だしーもし俺が同じ立場だったら、同じ事しただろうしー

真一 ほんとにごめんなさい!

耕司 頭あげてよ!こっちこそ、誤解を招いて、ごめんなさい!

美矢子 二人とも、偉いわね!

二人 えっ!?

美矢子 喧嘩両成敗!試合が終わればノーサイド!清々しいわー握手して!

二人 えっ!?

美矢子 ほらっ、握手よ!握手!握手知らない!?

耕司 いやっ知ってるけどー

真一 子供じゃないんだからー

美矢子 ほらっ、こうやってーできた！

真一 何これ!?

耕司 恥ずかしいでしょー

美矢子 いいシーンを見せてもらったわ、ありがとう！

耕司 いいシーンって!?

真一 何のドラマ!?

美矢子 もちろん青春ラブコメよ！

耕司 青春!?

真一 ラブコメ!?

三人 どつと笑うー

耕司 実はさ、文音さん・・・いや文音ちゃんと幼稚園一緒だったんだー

真一 えっ!?

耕司 それも教室も一緒だったー

真一 ……

耕司 だけど、向こうは覚えてなくてさ、言い出せなかったー今だから言うけど、

文音ちゃんが、初恋の人だったんだー

真一 マジでっ!?

耕司 まあ、驚くよねー付き合いたいかさ、そんなんじゃないから気にして欲

しくないんだけどー

真一 気にしてなんかないですよー

耕司 情けないのは、「幼稚園の時、公園で遊んだの覚えてる?」って言えない

のは致命的だと思ったー

真一 まあ言うタイミング逃す事は、よくありますよー

耕司 (深い呼吸) からすやまに來たらさー目が覚めたよー

二人 えっ!?

耕司 ここ最近ー自分が本当は誰なのかさえ分からなかったー

美矢子 どういうこと!?

耕司 文音ちゃんは美容師という仕事に責任を持つてるー樹生と智美ちゃんは、お父さんとの不満や文句を吐き出して親子の関係を深くしているー真一くん、君は真っ直ぐに文音ちゃんを愛してる、

真一 そんなカッコいいもんじゃないしー

耕司 そして俺は誰でもない、昨日も、今日も、明日も変わらない、そんな生き方してるんだー

美矢子 そんな事ない！耕司くんは、役者をやって舞台で人を楽しませてるじゃない！

耕司 叔母さん、ありがとうー東京に出てく時き、親父やお袋の反対を押し切つて、あたふたしながら来てき、仕事に慣れるのに一か月、東京に慣れるのに一か月、劇団に慣れるのに一か月掛かって、いつしか日常にまみれてしまつて、こんなもんだらうって、やってたんだ！これじゃない、まだ何かあるはずだ、これじゃない、まだ何かあるはずだつて・・・だけど何も無かつたー

二人 ……

耕司 だけどこの、からすやまに来て気づいたんだー言いたい事言えるようになって、やりたい事やるつてー

美矢子 耕司くん！

耕司 俺、舞台のオーディションに合格して主役を勝ち取る！そして北海道に居る両親を招待するー今の俺を見てもらうんだ！

美矢子 耕司くん、頑張つて！応援してるから！

真一 耕司さんの言葉で、身体がうずうずして来たー俺も文音とちゃんと向き合おう！

美矢子 真一君も頑張つて！

○真一、耕司、美矢子、待合室から出ていく。

○長谷川、待合室に入ってきて、シャボン玉を吹いている。

●照明●日が沈んでいく。暗転。

【SE】警笛音が鳴る。電車が到着する。

長谷川 からすやまーからすやまーご乗車ありがとうございますーございましたーお忘れ物などないようお願いしますー

○文音、智美、樹生、ホームから待合室に入つて来る。

長谷川 あれっ、皆さん帰って来るの早くないですか？  
樹生 人が多くて、あまり花火が見れなくて早めに帰ってきちゃいました！  
智美 私、小さいから、ほとんど見えなくて！  
文音 からすやまに、こんなに人がいるとは知らなかったよね！  
長谷川 あらあら、それはお気の毒！

○美矢子、佐知が入って来る。

佐知 あれっ？文音  
文音 お母さんー、美矢子さんもー  
美矢子 こんばんはー  
佐知 花火を見に行っただんじゃなかった？  
文音 行っただけど、人が多すぎて見れなくて帰ってきちゃった！  
佐知 そうだったのー  
美矢子 でも駅に来たのは正解よー  
文音 えっ、なんで？  
美矢子 実は、ここのガラス張りから花火が見えるのよー  
文音 えっ、ほんとに？  
佐知 ほんとよー、知る人ぞ知る、隠れスポットなの！

○文音、樹生、智美、ガラス張りの花火を見る。

文音 凄い！ほんとだ！  
樹生 やった！  
智美 良かったです！  
佐知 たまやー！  
美矢子 いいわねー

○耕司、真一が待合室に入ってくる。

樹生 真一、何処行ってたんだよ！待ってたんだぞ！

真一 ちよつと出掛けててーごめんなさいー

耕司 樹生、文音ちゃんー

樹生 呼び捨て？

耕司 実は、俺、幼稚園の時一緒に遊んでたんだー3日も経ってから、ごめんー

文音 私はー

樹生 そうだ！一緒にウルトラマンごっこやったな！俺は怪獣でやられ役だったー

耕司 良かったー覚えててくれたー

○改札口から長谷川と香織が待合室に入って来る。

文音 あれっ、香織ちゃん!? どうしたの？

香織 ……実は実行委員会の中に気になる人がいて、一緒に花火大会に向けて

取り組んでいくうちに、その彼との会話が楽しくなってきましたー

好きかもしれないってなって、でも、一歩踏み切れずにいましたー

昨日、幸恵さんに話したら、「いい事思いついたから駅に来て」って言わ

れて花火大会の前に来たんですーだけど結果は、ダメでしたー

文音 そうだったんだー

○幸恵、待合室に入ってくる。

幸恵 みんなー！花火見てる？あれ!!

香織 幸恵さんー

幸恵 香織ちゃん!? どうだった!?

香織 折角、幸恵さんにご教授いただいたんですがダメでしたー

幸恵 そうー残念ねー、でも元気だして!でもまだまだこれからよー

香織 私、今回の事で気付いたんですー

幸恵 何を？

香織 私、本当には彼を「信頼」なんかしていなかったんですー

幸恵 どういうこと？

香織 たわいの無い会話はそうでもないんですが、彼を意識しちゃうと「嫌われ  
たらどうしよう」とか「私って大丈夫かな」とか「いい事言わなくちゃ」

ってやっていて、そんな時って相手の話し聞けないって分かったのに、

最終電車は次の街へ シーズン2

幸恵 彼に電話したら、それが出ちゃって、やっちゃったーって、  
そうなのー

香織 約束した時間に待ってましたが、彼は現れませんでしたー

文音 香織ちゃんー

香織 私、これから、なんでも聞ける人になります！

幸恵 香織ちゃん、凄いわ！

香織 文音さん、真一さんの話し聞いてあげて下さいー

文音 ……

耕司 樹生、智美ちゃん、外で花火見ようよー(目配せをする)

樹生 そうだなー智美！外で見よう！

智美 そうだねー

耕司 真一くんー(真一の肩を叩く)

真一 耕司さん、ありがとうございますー

○樹生、智美、耕司、待合室を出る。

美矢子 私達も行きましょう！

佐知 そうねー

文音 お母さん達も、行っちゃうの？

佐知 すぐに戻ってくるわよー

○美矢子、佐知、待合室を出る。

長谷川 ホームでも花火見れますよー

幸恵 香織ちゃん、話し聞かせてー

香織 幸恵さん、ありがとうございますー

○幸恵、香織、長谷川、ホームに入る。

真一 ……文音ー

文音 ……なあに？

真一 そのさー…耕司さんと幼馴染だったなんてビックリだよなー、なんて

文音  
言うかそのー・・・世間は狭いって言うかー  
そうだねー

真一  
（ソワソワしながら）文音、ごめんー、ほんとに、ごめんなさいーなんかい  
じ張っちゃてー

文音  
いいよー私も、いじ張ったしー

真一  
・・・これ、文音にー

文音  
何っ？まさかー

真一  
そのまさかー開けてみてー

○真一、文音に指輪ケースを渡す。文音、ケースを開ける。

真一  
文音、結婚しよう！そして一緒に暮らそう！

文音  
ありがとう！・・・でも、条件があるー

真一  
条件？

文音  
・・・寝坊しないーそれが条件！

真一  
んー頑張るー努力する！

文音  
その言葉、忘れないでよ！

真一  
分かった！

文音  
いいよ！結婚しよう！

真一  
やったー！俺、幸せにする！

文音  
絶対だよー

真一  
俺、子供出来たら、釣り教えるんだ！

文音  
早いよ、もうー

○文音、真一、イチヤイチャする。

○幸恵、香織、長谷川、待合室に入ってくる。

香織  
文音さん、真一さん、おめでとうございます！

幸恵  
2人とも、おめでとう！

長谷川  
良かったですね！これで、あのイチヤつきが見れますね！

○耕司、樹生、智美、佐知、美矢子、待合室に戻ってくる。



最終電車は次の街へ シーズン2

文音  
真一

皆んなー  
ご心配をおかけしましたー

○皆んな、文音、真一を祝福する。

幸恵

さあー皆んな、お腹空いたでしょ!? サービスするからお店に来て!

○皆んなで行こうってなって、待合室を出る。  
○耕司、文音を引き止める。

【SE】警笛が鳴る。

耕司  
文音

文音ちゃん!?  
何っ!?

【SE】貨物列車が通り過ぎる。(耕司、文音の台詞と被せる)

耕司  
文音

文音ちゃんに、また会えて良かった! 文音ちゃんが初恋の人なんだ!  
いいえ、こちらこそ! 私も耕司くんが初恋でした!

【SE】貨物列車が通り過ぎた。

耕司  
文音  
耕司  
文音

えっ、今、なんて言ったの!?  
お腹空いちゃったーご飯、食べに行こう、  
うん、後から行くよー  
待ってるよ!

○文音、待合室を出る。

文音  
長谷川

皆んな待つてよ! 私も美味しいもの食べたい!  
あれっ幸恵さんのお見せに行かないの!?

耕司

・  
・

長谷川

文音ちゃん、幼馴染だつて気づいてたみたいですねー

耕司

駅長さん、聞いてたんですか？

長谷川

はいっ！はつきりと！でも、良かったじゃないですか!?

耕司

えっ!?

長谷川

いいたい事が言えてー

耕司

はいっ、皆さんのおかげです！

●竹原ピストルの「ふうせんガム」が流れてくる  
カーテンコールへ続く